



平成30年度三重県障がい者芸術文化祭

障がい者による
芸術文化祭

1 開催日時

平成30年11月30日(金)
10時(オープニング)～16時
12月1日(土)
10時～14時(表彰式13:30から)
※リハーサル11月29日(木)

2 会場

ふるさと会館いが
〒519-1412 三重県伊賀市下柘植6243
TEL 0595-45-9125 FAX 0595-45-9126
・ステージ発表: 大ホール
・作品展: 小ホール、ホワイエ

3 応募資格

県内に住所を有する障がいのある方

4 募集内容

(1) ステージ発表

- ・歌唱、楽器演奏、演劇、踊り・ダンス等
- ・グループ出場者の半数以上が障がいのある方
- ・出場は、準備等を含め1団体30分以内

(2) 作品展

- ① 作品は1人1点(未発表の作品に限る)
絵画、写真、書道、版画、彫刻、陶芸、手芸、
工芸、貼り絵・デザイン・コンピュータグラフィックス等
- ② 作品規格は、応募用紙参照。
- ③ 特別企画コーナー
・特別支援学校、俳句、短歌、川柳等
- ④ 共同作品コーナー

5 応募方法

規定の応募用紙により、事務局へ郵送、FAXまたはメールにて応募期日内に申し込む。

6 応募期間

平成30年9月10日(月)～10月10日(水)(必着)

7 作品の搬入・搬出

搬入: 平成30年11月27日(火) 11時～16時
搬出: 平成30年12月1日(土)
14時30分～15時30分

出品者が直接会場へ搬入・搬出する。当日、搬入・搬出できない方は、事務局へ問い合わせください。

8 事務局(送付先・問い合わせ先)

三重県障害者社会参加推進センター内
三重県障がい者芸術文化祭実行委員会
(公益社団法人三重県障害者団体連合会)
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp



サブタイトル募集

障がい者が積極的に社会に出て音楽・演劇・書道等の芸術文化に対し持っている能力を発揮できるよう「障がい者芸術文化祭」を開催します。この文化祭を盛り上げるためサブタイトルを募集します。

応募期間: 平成30年7月20日(金)
～8月20日(月) 必着

応募資格: 三重県内に住所が有る方

募集内容: 障がい者芸術文化祭を表し、親しみやすい内容で20字以内。1人何点でも応募できます。自作で未発表のものに限ります。

応募方法: 所定の応募用紙、又ははがき等にサブタイトル、住所、氏名、性別、年齢、電話番号、FAX番号等を記入のうえ応募してください。

※選考されたサブタイトルは印刷物や広報媒体等において広く活用する予定です。採用された方は、表彰式で表彰し、記念品を贈呈します。



第33回 国民文化祭・おおいだ2018
第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会

会期: 2018 10. 6 (土) ▶ 11. 25 (日)

「おおいだ大茶会」をテーマに、子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、誰もが参加し楽しむことができる文化のお祭りです。

三重県障害者社会参加推進協議会団体

三重県障害者団体連合会

当連合会の前身である三重県身体障害者福祉連合会が昭和28年4月に設立されてから、今年で65年になります。

また、平成10年には身体障害、知的障害及び精神障害の三障害共通の障害者社会参加推進センターとして、障がいの有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で共に助け合って、明るく暮らすことができる社会をめざして活動を進めています。

本年4月から施行された改正障害者総合支援法において、障がいのある人を権利の主体に居続ける基本理念が定められています。

この基本理念では、住み慣れた場所で可能な限り必要な支援が受けられることや、社会参加の機会の確保、どこで誰と暮らすかの選択など障がいのある人が保障されるべき権利が明確に打ち出され、障がいの有無によって分け隔てられることのない「共生社会」を目指す方向性が示されました。

また、三重県議会においても、「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」の策定が検討されています。

この条例案においても、全ての県民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目標に掲げています。

過去において、障がいのある人が受けてきた差別、虐待、隔離、暴力、特別視などは共生社会においてはあってはならないものです。また、障がいのある人はかわいそうであり、一方的に助けられるべき存在といったステレオタイプの理解も誤りなど、未だに障がいに対する無知、無理解や合理的配慮の欠如は、依然として社会の中にあります。

障がいの有無によって分け隔てられず、すべての人が助け合い、共に生きていく社会を実現するために、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やユニバーサルデザイン2020行動計画を絶好の機会と捉えて取り組んでいきたいと思えます。

会員の方々におかれましても、それぞれの組織で取り組み、更なる組織強化に取り組まれるよう切にお願い申し上げます。

会長 世古 佳清
事務局 ☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

三重県知的障害者育成会

第51回手をつなぐ育成会東海北陸大会開催

本会では、今年10月27日（土）～28日（日）志摩市において『手をつなぐ育成会東海北陸大会』を志摩市にあるHotel & Resorts ISE-SHIMAにおいて開催いたします。

障害者総合支援法の見直しがありました。

私たちの関心がある意思決定支援について、どう動いていくのか…障害団体の構成員の高齢化も課題となっています。その上、医療が発達して障害があっても長生きできる時代ですので、本人の高齢化も課題となってきています。

また、社会がインクルーシブ（包括）へ動き、教育もインクルーシブ教育へと転換している中で障害認識が持てない、受容ができなくて苦しむ方々への支援も欠かせません。

その中で、2日間という限られた時間の中で充実した時を過ごしていただきたいと願って準備を進めています。

以下に分科会と全体会の内容を簡単にご紹介いたします。

東海北陸手をつなぐ育成会協議会の理事会で分科会・全体会の案が承認されましたので、開催要綱の準備に入っています。

第1日目：分科会 13：00～16：30

第1分科会：（本人部会）志摩スペイン村オプションツアー

第2分科会：（本人部会）話し合おう

第3分科会：ほんにんのけんり

基調講演：市川知恵子氏（名張育成園理事長）

第4分科会：しごととせいかつ

基調講演：貴島日出見氏（鈴鹿医療大学医療福祉学科長）

第5分科会：ほんにんのこうれいか

基調講演：野澤和弘氏（毎日新聞論説委員）

第6分科会：おやのこうれいか

基調講演：又村あおい氏（全国手をつなぐ育成会連合会 政策センター委員）

特別講座：障害を受け入れて生きる（対象受講者 県内特定）

吉川かおり氏（明星大学副学長 全国手をつなぐ育成会連合会理事）

市川 知律氏（市川知律社会福祉士事務所所長・本会理事）

第2日目：全体会 9：00～12：00

式典：顕彰式・大会決議等

トークセッション：知的障害者にとっての障害認識および意思決定支援と自己選択の尊重～知的障害者支援はどう変わるのか～

吉川かおり：明星大学副学長

全国手をつなぐ育成会連合会理事

又村あおい：全国手をつなぐ育成会連合会

政策センター委員

市川 知律：三重県育成会理事

理事長 高鶴かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 FAX 059-225-3935

E-mail:oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県精神保健福祉会

大きな後退!!

この4月より、三重県庁の「組織再編」で、「障がい者が二分化」されました。

3月まで、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者は健康福祉部障がい福祉課でした。

現在は身体障がい者と知的障がい者は子育て・福祉部障がい福祉課（県庁2階）に、そして精神障がい者は医療保健部健康づくり課（県庁4階）に分断されました。

当事者や家族の間では「なんで?、なんで?」の声広がっています。とりわけ精神の当事者は精神障がい者から「精神病者扱い」になったとの声…。自立支援法や総合支援法では「三障害一元化」の流れが広く理解されようとしている中で、大きな後退にしか見えません、私たちは3月までは4階の障がい福祉課を訪れたときに、他障がいの情報も簡単に聞くことができたのですが、今はできません。

私がこの「大きな後退」で残念なのは、この4月から「二分化の再編」をするというのに三障がいのどの当事者団体にも「声掛け」がなかったことです。障害者権利条約批准以来、「当事者抜きに当事者施策を決めないで…」何度となく議論し、確認してきたことが行政を預かる方によって、簡単に反故にされていることです。

今回、何の音沙汰なしに進められたことに、県職員の中からも疑問の声が多く聞かれます。

「三障害一元化」されている障害福祉行政を分断すること、障がい者にくさびを打ち込むに等しいと考えています。どのような形であれ事前に全ての障がい者団体の声を聞くことなく、障がい者に関わる施策を推進することに断固反対します。私たちは今後あらゆる機会を通じて、不当な行政を正すための声を上げていく決意です。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）

理事長 山本 武之

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp



三重県聴覚障害者協会

2017年度は、4月1日に施行した三重県手話言語条例で、県の責務や市町・関係機関との連携・協力や県民及び事業者の役割を定めておりますので、それに関する事業が実施されました。その事業を当協会が委託を受け、(1) 県民手話講座、(2) 県職員等研修、(3) 手話動画作成、(4) 手話奉仕員ステップアップカリキュラム作成の四事業を行いました。『県民手話講座』『県職員等研修』では手話を学ぶだけではなく、「聞こえないこと」「日常時や災害時に困ること」「聴覚障害や聴覚障害者への合理的配慮」などを取り入れました。名張市では2017年6月27日に、県内市町で3番目となる『名張市手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例』が制定されました。そして、11月から県内で初めての取り組みとなる、スマートフォンやタブレット端末のビデオ通話機能を使った聴覚障害者向けの遠隔手話通訳サービスを運用しています。また、鈴鹿市も来年の施行に向け、手話言語条例制定の検討を行っています。小学生から高校生までのアンケート(キッズ・モニターアンケート)の調査では「三重県手話言語条例ができたこと」の知名度(2017年度1.8%→2018年度4.1%)が少し上がったことが分かりました。今後、ろう者と聞こえる人がお互いに人格と個性を尊重し、誰もが手話に親しみ、手話が広く利用される共生社会の実現につながるよう手話の普及や手話通訳を行う人材の育成などの取り組みを進めたいと思っています。

当協会会員数は2016年度の会員数より2名増加し、310名と嬉しい結果となりました。当協会結成70周年を仲間たちと共に祝い、また運動に取り組んできた先人たちに想いを馳せようと、11月には70周年記念企画「全日ろう連結成の地伊香保温泉、ホテル木暮、全日ろう連記念碑への旅」を実施しました。創立70周年という長い歴史や先人たちの想いを改めて感じる旅行となりました。この先困難なことがあっても会員の皆さんや仲間たちと一緒に乗り越えてゆけることを信じ、ろう運動の炎を絶やすことなく、2018年度の取り組みに向けて新たな歴史へ進んでいきます。

三重県手話言語条例に関する事業や2021年全国障害者スポーツ大会 in みえにおける情報支援ボランティア養成など事業が増えています。すべての障害者の情報取得や意思疎通の権利が守られ、すべての人

たちが共生できる社会を作っていかなければなりません。そのために、2018年度も行事や学習会を開催し、さまざまな問題や課題について学び、みんなで力を合わせて「自分らしく生きる、みんなとともに生きる共生社会の実現」に向けて、運動を展開していきます。引き続き、ご指導とご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail:deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県視覚障害者協会

本協会は、県内の視覚障害者で構成されており、協会本部事業の予算執行のほか、県の施設である三重県視覚障害者支援センターの指定管理者として、センターの管理運営を行っています。

こうしたセンター事業については、毎年年度当初に県と年度協定書を締結して、それに基づいてセンター事業予算を的確に執行しております。以下に、平成29年度の目標値と実績値を対比し、それぞれの達成率を明記しました。

- ①図書貸出タイトル数
99% (76,000タイトル/75,250タイトル)
- ②生活訓練参加者数 121% (580人/480人)
- ③図書の製作タイトル数
120% (360タイトル/300タイトル)
- ④図書だより発行 200% (12回/6回)
- ⑤点訳奉仕員養成講習(初級) 60% (3日/5日)
- ⑥ " 5% (1人/20人)
- ⑦点訳奉仕員養成講習(中級) 40% (8日/20日)
- ⑧音訳奉仕員養成講座 100% (40日/40日)
- ⑨ " 130% (26人/20人)
- ⑩スキルアップ講習会 52% (171人/330人)
- ⑪県政だより点訳版・録音版発行回数
100% (12回/12回)
- ⑫みえ県議会だより点訳版・録音版発行回数
100% (7回/7回)

新年度からも、こうした評価認識のもとで、センター運営に注力していきますので、センター利用者の皆さんから引き続きサポートもいただきますよう、改めましてよろしくお願い申し上げます。

一方、協会本部事業については、平成30年度の事業計画の中で、以下のような前文を記載しています。

「社会福祉法人三重県視覚障害者協会は、視覚に障害のある人たちの特性や行動を深く理解しており、視覚障害者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する

ことを目的としています。

しかしながら、特に近年は、地域生活における高齢化や障害の重度化や情報通信の高度化などを背景に、会員数の減少や会員であることの意義の低下などが急速に進展しています。その一方で、中途視覚障害やロービジョンなど、多様な視覚障害の占める割合が年々高くなってきており、視覚障害者ひとりひとりのニーズに的確に対応していく必要性は今までに高まっています。

こうしたなかで、当協会は、これまでの経験を活かすとともに、視覚障害者支援の役割の重要性を再認識し、新たな重要なニーズにもしっかりと対応できるように、様々な関係団体や関係機関、そして社会福祉行政及び点訳・音訳ボランティアをはじめとする一般県民と緊密に連携・協働しながら、限られた予算制約のもとで、必要な事業を適切に実施していくことが求められています。」

こうした県内視覚障害者を取り巻く社会環境の認識のもとで、協会本部事業を的確に執行してまいります。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会

三重県視覚障害者支援センター

〒514-0003 津市桜橋二丁目131番地

☎ 059-228-3463 ・ FAX 059-228-8425

HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

E-mail:mieten@zc.ztv.ne.jp

三重喉友会

当会は昭和30年に創立され今年で63年目になり、現在会員数は90名です。

種々の疾患のため喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。

その方々が、発声教室で訓練をして日常会話が出来ようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

このほか、会員同志の健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

◆発声教室

毎月県内の病院で開催しています。

- ・北勢地区
市立四日市病院耳鼻科・第一水曜日 13時～15時
- ・中勢地区
三重大学附属病院耳鼻科・第三木曜日 10時～12時
- ・南勢地区
伊勢赤十字病院耳鼻科・第二木曜日 10時～12時
- ・東紀州地区(偶数月)

尾鷲総合病院耳鼻科・第四木曜日 10時30分～12時
・会員の方は自由にお近くの教室に参加して下さい。

◆研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年三日間行われ一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会(研修会)

毎年春に三重大学附属病院で開催されます。
発声訓練の一環として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行

先輩からの手術後の体験談や会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。
会員による発声コンクール(カラオケ大会)を行います。

◆出前授業

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中学校の生徒対象に三重大学附属病院の教授とがん体験者としての講演をしています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本明雄)

日本オストミー協会三重県支部

昨年は、計画した行事・事業を滞りなく実施できました。この間、関係各位のご支援とご協力を戴き、活動が出来ましたことを感謝申し上げます。

本年度は、5月26日に「総会」と「春の研修会」を開催しました。

研修会は、四日市羽津医療センターの皮膚・排泄ケア認定看護師の鈴木美奈子先生に「スキンケアを見直しましょう」の演題でお話いただきました。オストメイトは酷暑の夏を迎えて、発汗等により装具貼付部の皮膚トラブルが多くなる傾向があるのでタイムリーなお話が聞けました。

本年度今後の予定は、次のように計画しています。詳細確定次第ご連絡いたしますのでぜひご参加ください。

- (1) 春の一泊研修会 場所：鳥羽市「胡蝶蘭」
H30年6月24日(日)～25日(月)
- (2) 秋の研修会 場所：津市 H30年10月
- (3) 秋の一泊研修会 場所：鳥羽市方面 H30年11月
- (4) 新入会員研修会 場所：津市 H31年2月
装具を付けていることを負い目にして引っ込み思案をすることなく、自信を持って日常生活や社会適応が出来るよう、研修会等で話し合っていきましょう。
オストメイトは、ご家族のご協力があってこそ快適なストーマ生活が過ごせます。一泊研修会等の行事にご家族のご参加を歓迎いたします。

☆注 (1)ストーマ…腹部に造設した人工肛門・膀胱のことを言います。

(2)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言います。



会 長 ☎ 059-346-2589 (溝川紳一)

事務局 ☎ 059-226-5201 (在間敏明)

三重県ことばを育む会

三重県ことばを育む会は、言語・発達に障がいがある児童とその保護者がある障がいを理解し、悩みを共有・解消するとともに、ことばの教室の活動を通して多くの方と交流することで、障がいを理解し、障がい者の自立と社会参加を推進するため、相談交流会をしています。

言語・発達障がいに対する理解を促進するため、フレンテみえて月1回交流会、専門分野の先生を招いて講演会、相談会をしています。関心のある方は参加してみてください。

【お問い合わせ】☎ 059-268-5527 (後藤志津)

三重心臓を守る会

5月13日(日)、三重心臓を守る会第37回総会が開催され、昨年度と今年度の事業報告、決算報告・監査報告が、出席者と委任状で承認されました。

平成30年度の事業・活動内容を紹介させていただきます。

(1)要求実現のための活動

・会員からの声を拾い上げ、心臓病児者のQOLの向上のための活動に力を注ぎます。

(2)相談活動の充実、交流会・講演会の実施

①医療講演会・相談会

講師：萩原義人先生

(三重大医学部附属病院 循環器内科 助教授)

日程：平成30年7月15日(日)10時30分～12時30分

12時30分～14時まで 相談会

会場：三重県難病相談支援センター

(津市桜橋3丁目446-34)

②交流会と相談会

・療育キャンプ・クリスマス会は、年少のお子さんの保護者の皆さんが企画担当

・ミニ交流会と相談会を各4カ所で今年も行う

③救急講習会

日本赤十字社に依頼予定

(3)情報の提供

・多くの情報の中から、会員および病児者に有効な情報を提供する様心がける

(4)理解啓発活動

- ・入会案内や会誌を関係機関に設置依頼し、講演会や相談会のポスターを掲示する

(5)機関誌の発行

- ・情報源になり会員間の関係がより強く結びつく機関誌(支部報)、最新の情報や会員の近況報告、行事参加の感想など内容の充実をはかる

(6)他団体・他機関との連携・協力

- ・他団体との連携を強化する

(7)組織拡大の活動

- ・心臓病児者が孤立しない様に、関係機関に働きかける。会員は、通院・入院時に声をかけて、患者会があり、相談窓口があることを知らせる。支え合う精神を大切にする。

今年度も、上記の様に色々な行事と共に、相談会の開催も計画しています。また、毎月会報発送をしており、色々な会員が発送を手伝いに来てくれます。学校生活では、ルールの中で親がどこまで関われるのか、どうしたら子ども自身の活動を円滑にしてあげられるのか…。進学、就職、一人暮らし・結婚など、困ったことや悩みごとなどを相談する機会になります。一人で悩まず、相談に来てくださいね。

事務局 ☎ 059-255-4661 (西村信子)



このような機会に重症児(者)の未来を考えることは大変意義のあることと考えています。

皆様へは何らかの機会を通じて案内ができると思います。是非ご参加をお待ち申し上げます。

通常の行事では本会が長年続けている企画に医療講演会があります。今年度はこの講演をブロック大会の基調講演を兼ねて実施することが決まりました。

講師は国立長良医療センター院長山田堅一先生にお願いしてあります。

一泊保養所は熊野市で例年通りの開催を予定しています。

また守る会の中に幾つかの部会があり、その一つ母親部会の主導で「安心ノート」を発行しました。対応が課題となっている「地震・津波対策」や「親亡き後」を念頭においたもので、皆様のお声も聞いてみたいと思っています。

私たちはこれからも皆様の共感を得るべく活動を続けて参ります。ご教示、ご支援の程宜しく申し上げます。

会長 ☎ 0567-95-0321 (松尾孝之)

三重県重症心身障害児(者)を守る会

30年度総会は例年通り国立病院機構鈴鹿病院3階第1会議室で開催しています。

昨年の活動報告、決算報告とこれに対する監査報告、今年度の事業計画があり、予算と人事案件が承認されました。

本会には東海三県と静岡、北陸の富山、石川を一つのグループとしたブロック単位の活動があり、その中の行事にブロック大会があります。

その東海北陸ブロック大会を今年度三重県が担当して四日市市で開催がきました。

今年度、三重県・守る会は他の行事を多少変更や少なくしてこの行事に専念することになります。

すでに昨年から実行委員会を立ち上げ、準備を進めて参りました。県・市や県内の病院施設から来賓、助言者をお迎えして、大会規模は東海北陸6県の会員、関係者約200名の参加を見込んでいます。

テーマは「この子らの未来を考える」。サブテーマを「重症児者の暮らしを支える支援の在り方」としました。

守る会はいわゆる「30年問題」に大きな注目して参りました。幸いにも条件付きとはいえ延長され、児者一貫が認められたことになりホッとしているところです。

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

◎平成29年度主な事業実績

(1)東海北陸ブロック静岡大会&障害者の明るいくらし

- ・期 日：6月17日(土)～18日(日)
- ・場 所：浜松市、浜松エアパーク
浜名湖ガーデンパーク

・参加者：35名

(2)県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日：9月30日(土)～10月1日(日)
- ・場 所：伊賀市、ヒルホテル サンピア伊賀
- ・研修テーマ：親亡き後安心して暮らせる住まいの在り方

・参加者：40名

◎平成30年度主な事業計画

(1)県肢連福祉研修大会及び療育キャンプ

- ・期 日：6月2日(土)～3日(日)
- ・場 所：ホテル&リゾート伊勢志摩
- ・研修テーマ：住み慣れた地域で、共生社会の実現

(2)障害者の社会参加促進事業

- ・期 日：10月14日(日)
- ・場 所：オービィ大阪(吹田市)

☆支援法施行後3年を目途とした見直しが行われ、4月より施行されましたが障害者福祉については、非常に厳しい環境にあります。

障害者の高齢化と同時に保護者も高齢化してきて

います。

「親亡き後安心して暮らせる住み家」をテーマとし活動を継続していきます。賛同頂ける保護者様のご参加と関係各位の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

◇当会の活動等、詳しく知りたい方は下記へ
県肢連会長 鈴木錠平 ☎・FAX 059-333-0005

三重県脊髄損傷者協会

脊髄損傷者の多くは車いすを使用して日常生活を送っています。

社会生活で困るのは移動、排尿・排便、仕事などでの社会とのかかわり合いなどが多いと思います。

インターネットを活用すると、それらの情報を簡単に得ることが可能で、昔と比べると旅行の計画をする場合は情報量が多くバリアフリーが進み楽になりました。

脊髄損傷者協会は脊髄損傷の方と交流が多く、たくさんの方が入ります。先日は人工肛門を付けた人から、メリット・デメリット、失敗談を聞く機会があり、高齢になると人工肛門がQOLの向上に効果があると思われました。

脊髄損傷者協会では同じ障害を持つ者同士が、話をしながら問題を解決したり、情報交換をすることが重要と考えています。また、その家族との交流も同じです。

今年度は平成30年12月・平成31年3月に脊髄損傷者の交流会を開催します。ぜひ参加してください。

日時・場所については電話でお問い合わせください。事務局 ☎ 059-386-9733 (松田靖利)

三重県知的障害者福祉協会

平素は、障害者社会参加促進事業の活動を通じ、当協会の活動等にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度より、従来から委託事情として実施しておりました「障害者の明るい暮らし促進事業」におけるレクリエーション教室開催事業として取り組んでまいりました障害者施設、事業所の利用者交流ソフトボール大会について事業の趣旨と異なることから受託することを辞退させていただくことといたしました。

ソフトボール大会は長年委託を受け実施してきた取組として利用者に根付いていることから今後は協会独自で取り組むこととさせていただきます。

紙面をお借りしこれまでのご支援に改めて心より感謝申し上げます。

さて、当協会では今年度においても従来の事業を継続して実施すると共に、「障害者虐待防止法」が

施行されて5年を経過する中で、今尚福祉の現場から虐待事案が後を絶たないことを踏まえ、協会内に虐待防止に係る組織の位置付けを図るとともに「虐待を生み出さない風土作り」のための取組を強化していきたいと考えております。

つきましては、関係各位、団体の皆さんにおかれましても本協会の取組趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますことを心よりお願い申し上げます。

会長 近藤 忠彦
事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重難病連

三重難病連は現在、20の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。その事業の中から、今年度の予定についてお知らせします。

○地域難病相談会(時間は全て13時～15時)

地域の医師会やハローワーク、患者会、保健所と協力して、生活相談や医療相談、就労相談等をお受けします。参加無料、事前申し込みは不要です。

7月8日(日)

鈴鹿地域難病相談会 三重県鈴鹿庁舎

9月2日(日)

桑名地域難病相談会 くわなメディアライヴ

10月28日(日)

伊勢地域難病相談会 三重県伊勢庁舎

11月18日(日)

熊野地域難病相談会 三重県熊野庁舎

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。(☎ 059-223-5045)

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

(☎ 059-223-5046)

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県立特別支援学校長会

平素は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度、三重県立玉城わかば学園(知的障がい)

の教室不足の解消するため、三重県立松阪あゆみ特別支援学校（知的障がい）が新たに開校されました。これで、県立の特別支援学校は本校が14校、分校4校となりました。これらの特別支援学校では、幼稚園から専攻科まで1,687名の児童生徒が学んでいます。特別支援学校では、自立と社会参加の実現に向け、一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、きめ細かな教育を行っています。

特に、卒業後も地域の中で安心して自分らしく豊かに暮らしていけるよう、それぞれの生活年齢や障がいの状態に応じたキャリア教育を推進しています。

また、インクルーシブ教育の理念のもと、多様な場での学びの整備が行われています。特別支援学校は地域の特別支援教育のセンター的役割を果たすべく、地域の小中学校、高校と連携し、特別支援教育の校内体制の構築や職員研修での助言など特別支援教育がそれぞれの場で充実するよう取り組んでいます。

新たに今後10年の教育の方向を定める新学習指導要領が告示されました。新学習指導要領で求められている「社会に開かれた教育課程の実現」するため、教育内容の見直しを進めているところです。

今後とも皆様方のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局：城山特別支援学校(西谷)

☎ 059-234-3431

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

○三重障害者職業センター

①障がいのある方には、ハローワークと協力し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、職場適応のためのジョブコーチ支援やうつ病等で休職している方の職場復帰のためのリワーク支援など各種支援を行っています。

②事業主の方には、障害者雇用の進め方や雇用管理の相談・研修を行っています。

③関係機関の方には、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1（ハローワーク津3階）

☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

○高齢・障害者業務課

①事業主の方には、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。

②社会一般に障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図るための啓発事業として三重県

障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）の開催等を行っています。

※日程：12月8日（土）にポリテクセンター三重（四日市市西日野町4691）において開催します。ご案内は、8月頃にホームページ等でお知らせいたします。

【お問い合わせ】津市島崎町327-1（ハローワーク津2階）

☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270

三重県ボランティア連絡協議会

平素は、当会の事業、活動にご理解とご協力を賜り、お礼申し上げます。

「障害のある人もない人も互いに共生できる社会を創りあげていくためには」等よく耳にする言葉ではありますが、真に障害のある方々が安心して地域でくらす事ができて自立と社会参加にむけた取り組みの中でボランティアとしての協力ができればと思っています。多様化するニーズにおいても俊敏に対応できるように、ボ連協上げて活動の強化を図っていきます。

・平成30年5月19日 代議員会

記念講演会 「難聴ってなんだろう？」

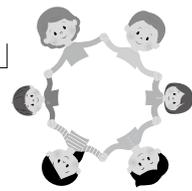
講師 アイランズ

・平成30年11月 総合研修会

「見守り支援員養成講座」伊賀市

事務局：三重県ボランティアセンター（川瀬みち代）

☎ 059-229-6634



三重補助犬普及協会

補助犬は、からだの不自由な人の自立と社会参加を助けています。

からだの不自由な人たちも、補助犬と一緒に当たりまえに暮らせる社会をつくりましょう。

当協会は補助犬に関する社会的PR活動を行っています。

①介助犬啓発

平成30年8月4日(土) イオン津ショッピングセンター

②補助犬啓発

平成30年12月1日(土)

三重県障がい者芸術文化祭 ふるさと会館いが

③盲導犬啓発

平成31年1月17日(木)

視覚障害者生活用具展 三重県社会福祉会館

④聴導犬啓発

平成31年2月中旬(津市ユニバーサルデザイン発表会)

【お問い合わせ】NPO法人三重補助犬普及協会

E-mail:mie-hojoyoken@pasoya.jp

三重県の窓口でヘルプマーク（ストラップ）の配布が開始されました。

ヘルプマーク（ストラップ）は、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている障がいのある方や、病気の人などが、カバンなどに吊り下げて、日常生活や災害時などで困ったときに周囲に示し、支援や理解を求めやすくするマークです。

三重県では、必要な方に使っていただけるよう、ヘルプマーク（ストラップ）を作成して、現在、県庁（地域福祉課）、県福祉事務所、県保健所、県障害者相談支援センターで配布をしています。《郵送ご希望の場合は、返信用封筒に送付先のお名前・住所を明記の上、返信用切手（92円）を貼付のうえ地域福祉課に請求してください。》

ヘルプマークを持っている方を見かけたら、電車やバスで席を譲ったり、緊急時や災害時に支援していただくなど、ご配慮いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 三重県子ども・福祉部地域福祉課 ユニバーサルデザイン班
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
☎ 059-224-3349・FAX 059-224-3085・メール：ud@pref.mie.jp



三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に ガイドヘルパーボランティアとして参加しましょう！

2021年に三重県で開催する第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）において、視覚障がい者や車いす使用者に対する介助や誘導、情報保障を行うガイドヘルパーボランティアに対する養成講座を実施します。

ガイドヘルパーボランティア養成研修をぜひ受講してください。

これまでにガイドヘルパー養成研修、同行援護従業者養成研修等を受講した方が対象です。人と人との交流地域の連携を深める良い機会です。障害者福祉に関し理解と熱意のある方の参加をお待ちしています。

人や地域がいつまでも元気であり続けていく「活力に満ちた元気な三重」の未来を願って、全国の障がい者アスリートと共にあなたも貴重な体験をしましょう。

三重県で開催される「三重とこわか大会」に、ガイドヘルパーボランティアとして関わり、この大会を通じて、夢と感動、喜びと充実感を味わってください。



※全国障害者スポーツ大会とは

障がいに対する理解促進や障がいのある方の社会参加の推進を目的として、毎年開催されている障がい者スポーツの全国的な祭典です。国民体育大会開催県において、国民体育大会終了後、3日間の会期で開催されます。

第63回 日本身体障害者福祉大会 ぐんま大会

6月13日（水）・14日（木）群馬県高崎市で開催され、大会初日は、「心のバリアフリーの推進にむけて～地域社会における日身連と加盟団体の役割について～」を大会テーマに基調講演とシンポジウムが開催されました。

2日目は、1,700名の全国の仲間が高崎アリーナに集い、第63回日本身体障害者福祉大会 ぐんま大会が開催され大会宣言及び大会決議が採択されました。

なお、県内からは25名の方々が参加され、鈴鹿市の太田重さんが会長表彰を受けられました。

ガイドヘルパースキルアップ研修会 開催のお知らせ

日時 平成30年7月15日（日）10：00～14：00
場所 伊勢河崎商人館、河崎のまちなみ散策
対象 県内在住ガイドヘルパー養成研修
同行援護従業者養成研修等修了者
参加費 一人500円（入館料、昼食代含む）

【お問い合わせ】

公益社団法人三重県障害者団体連合会
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
☎ 059-232-6803 FAX 059-231-7182

ステップアップカフェCotti菜(こっちな)のイベントに参加しませんか

ステップアップカフェCotti菜(こっちな)は、三重県総合文化センター内にある、障がい者がスタッフとして働くカフェ・レストランです。お食事の提供だけでなく、「障がい者が働くこと」の理解を広めるイベント(ステップアップ大学)も開催しています。場所はいつでもCotti菜店内です。ぜひご参加ください。

①Cotti菜で「知る」 毎月第2金曜日 18:30～19:30

- ・フリードリンク代380円(税込)
- ・三重県内で働く障がい者が、仕事のこと、普段の生活のこと、今の仕事につくまでのことなど、いろいろ話します。
- ・参加者から質問もお受けします。
- ・障がい者、障がい者の家族、企業関係者、学校や福祉関係者、関心のある県民の皆さん、どなたでもおこしください。
- ・事前予約は不要です。
- ・手話通訳・要約筆記をご希望の方は、2週間前までにご連絡ください。

②Cotti菜を見学 火・水・木・金 13:00～14:00

※要事前予約(原則1か月前までに)

- ・4名以上の団体様からお受けします。ランチの後、Cotti菜についての説明をさせていただきます。
- ・参加代金は不要ですが、ランチ代については実費でいただきます。

③Cotti菜deボードゲーム

- ・平成30(2018)年度の開催日時
 - 7月21日(土) 14:00～17:00
 - 9月19日(水) 18:00～20:30
 - 11月17日(土) 14:00～17:00
 - 1月16日(水) 18:00～20:30
 - 3月16日(土) 14:00～17:00
- ・参加費 800円(フリードリンク代含む)
- ・対象 6歳以上ならどなたでも
- ・定員(一緒に遊ぶことができる人数) 30人
- ・障がいのある方もない方もいっしょに楽しむことができます。
- ・1人でも、初めてでも大丈夫!スタッフがルール説明などサポートします。
- ・ゲームは色んな種類を準備します。1つのゲームは1回約20分程度で終わります。
- ・スタートの時間に間に合わなくてもOKです。途中から参加できます。入退室は自由です。



■①～③のイベントのお問合せ・手話通訳・要約筆記のお申込み先

三重県雇用経済部雇用対策課障がい者雇用班

☎ 059-224-2510 FAX 059-224-2455

メール koyou@pref.mie.jp

イベントの詳細は三重県ホームページをご確認ください。「ステップアップカフェ運営事業」と検索

■ステップアップカフェ Cotti菜

津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター
男女共同参画センターフレんてみえ1階

☎・FAX 059-233-1233

平成30年度障がい者社会参加促進事業等

三重県障害者社会参加推進センター委託事業

団体名	事業名	団体名	事業名	団体名	事業名	
障害者団体連合会	障害者相談員研修会開催事業	視覚障害者協会	障がい別スポーツ大会選手育成強化事業(全国フロアーバレーボール大会東海地区予選)	肢体不自由児(者)父母の会	肢体不自由児(者)体験学習交流会開催事業	
	身体障害者補助犬育成等事業		聴覚障害者協会		障がい別スポーツ大会選手育成強化事業(東海地区聴覚障害者体育大会)(全国ろうあ者体育大会)	脊髄損傷者協会
	盲ろう者生活訓練等促進事業	日本オストミー協会三重県支部		オストメイト社会適応訓練事業(膀胱機能障害)	喉友会	
	声の「ふれあい」発行事業			オストメイト社会適応訓練事業(直腸機能障害)		音声機能障がい者指導者養成研修事業
	地域レクリエーション教室開催事業(身体障がい者カローリング教室)	心臓を守る会	心臓機能障がい者理解促進事業(心のバリアフリー推進事業)	知的障害者育成会	レクリエーション教室開催事業(知的障がい者療育キャンプ)	
	身体障がい者ボウリング教室		ことばを育む会		言語障がい児理解促進事業(心のバリアフリー推進事業)	精神保健福祉会
	身体障がい者グラウンドゴルフ教室					
障がい者芸術文化祭開催事業						
未婚障がい者出逢い支援事業						
視覚障害者協会						
	地域レクリエーション教室開催事業(視覚障がい者グラウンドゴルフ教室)					
	視覚障がい者ボウリング教室					

あなたも参加しませんか

☆三重県障害者団体連合会では、障害者の社会参加を促進する各種事業を開催しています。
障害者の方であれば、自由に参加できますので、奮ってご参加ください。

月別	開催日	行 事	会 場
7月	8日(日)～9日(月)	障がい者ふれあい交流会	サンペルラ志摩
9月	23日(日)	障害者自動車安全運転競技会(交通法規に即した運転技術の競技会)	三重中央自動車学校
	29日(土)	身体障がい者交流レクリエーション カローリング教室	三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿スポーツガーデン体育館
10月	20日(土)	障がい者青年活性化対策事業(障害者の体験発表とカラオケの集い)	南伊勢町ふれあいセンター なんとう
11月	7日(水)	身体障がい者交流レクリエーション ボウリング教室	桑名グラウンドボウル
	18日(日)	三重県身体障害者福祉大会	いなべ市さくらホール
	30日(金)	三重県障がい者芸術文化祭	ふるさと会館いが
12月	1日(土)	三重県障がい者芸術文化祭	ふるさと会館いが
	8日(土)	障害者交通安全啓発事業(交通安全の研修会・啓発)	鈴鹿市伝統産業会館
その他	6月、10月、2月 (第4日曜日)	未婚障がい者出逢い支援事業(結婚相談)	三重県身体障害者総合福祉センター

(注) 参加を希望される場合は、詳細について下記の連絡先までお電話ください。開催日の1ヶ月前までに申し込んでください。(事前申込が必要です)

【お問い合わせ先】 公益社団法人三重県障害者団体連合会 〒514-0113 津市一身田大古曾670-2

TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182 E-mail:suishin.c@mie-kensinren.or.jp

障がい者スポーツ関連のお知らせです

●「団体競技の選手募集」

2021年に開催予定の全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に向けて、団体競技チームの選手を募集しています。経験者・未経験者を問いません。仲間と共にスポーツを楽しみませんか。

【募集团体競技】

知的バレーボール(男・女)、知的バスケットボール(男・女)、知的ソフトボール、知的フットベースボール

※申し込み方法等、詳細は事務局までお問い合わせください。

●「第21回三重県障がい者スポーツ大会」

この大会は、翌年度の全国障害者スポーツ大会の予選も兼ねています。日頃の成果を存分に発揮して、ぜひ全国大会出場を目指してください。

	日 程	会 場
【陸上競技】	平成30年11月 3日(土)	三重交通Gスポーツの杜伊勢 陸上競技場 (伊勢市宇治館町510)
【バレーボール精神障害の部】 ※北信越・東海ブロック大会予選	平成30年11月25日(日)	久居体育館(津市久居野村町877-1)
【ボウリング】	平成30年12月15日(土)	津グラウンドボウル(津市垂水下境915-1)
【卓 球】 サウンドテーブルテニス 一般卓球	平成31年 1月20日(日) 平成31年 2月 2日(土)	三重県身体障害者総合福祉センター (津市一身田大古曾670-2)
【ポッチャ】※県大会のみ	平成31年 1月27日(日)	三重県身体障害者総合福祉センター (津市一身田大古曾670-2)

※各競技の申込期間は、開催日の約2か月前から1か月前までとなっています。詳細は事務局までお問い合わせください。

●「福井しあわせ元気大会」(第18回全国障害者スポーツ大会)

日 程：平成30年10月13日(土)～15日(月)(派遣期間：平成30年10月11日～16日)

●「三重県障がい者スポーツフェスティバル」

日 程：平成30年10月28日(日)(予定)

会 場：三重県身体障害者総合福祉センター(津市一身田大古曾670-2)

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター 障がい者スポーツ推進課

電 話：059-231-0800(直通) FAX：059-231-0801 HP：http://www.mie-reha.jp/

平成30年度三重県障害者 相談員等研修会開催

目的

障がい者の社会参加と自立促進を目指すなかで、障害者相談員等が一堂に会し、障がい者の人権や最近の諸問題などの情報提供を行い、地域で生活している障がい者を支援するため、相談対応能力の向上と相談員間の連携を図る。

日時

平成30年10月3日(水) 受付 12時30分
開会 13時00分 閉会 15時30分

場所

三重県男女共同参画センター(フレンテみえ) 多目的ホール
〒514-0061 津市一身田上津部田1234
TEL 059-233-1130

参加者

- (1) 身体・知的・精神障害者相談員
- (2) 県・市町・市町社会福祉協議会の相談業務担当職員等
- (3) 各市町障害者団体の長、保護者、家族会等の長
- (4) 障害者、支援者等

研修内容

- (1) 13時00分～14時00分
講演「障がいの有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」について
講師 三重県子ども・福祉部障がい福祉課 課長補佐班長 奥永 英武氏
- (2) 14時05分～14時25分
講演「ヘルプマークでつながるおもしろいの絆事業」について
講師 三重県子ども・福祉部地域福祉課 ユニバーサルデザイン班 班長 吉田 智明氏
- (3) 14時30分～15時30分
講演「あたりまえ」ってなんだろう? ～知ることを大切に～
講師 公益財団法人 反差別人権研究所みえ 研究員 吉原 隆行氏

第22回日身連中部ブロック 身体障害者相談員研修会

相談員として活躍している者が、障害者総合支援法などの関係法令及び施策等の知識のほか、講演等を通じ、相談業務に必要な知識や相談技術を取り入れ、相談業務の更なる充実を図る。

開催日時 平成30年10月24日(水) 14:00～17:45
10月25日(木) 9:30～11:30

開催場所 名鉄ニューグランドホテル
(名古屋市中村区椿町6-9)
TEL 052-452-5511 FAX 052-452-5893

第64回三重県身体障害者福祉大会

日時 平成30年11月18日(日) (受付9時30分から)
式典 10時30分～11時30分
郷土芸能 11時40分～12時30分
会場 いなべ市北勢市民会館 さくらホール
〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜3083-1
TEL 0594-72-2200 FAX 0594-72-6541

【事務局・お問い合わせ】

公益社団法人 三重県障害者団体連合会
〒514-0113 津市一身田大古曾670-2
三重県身体障害者総合福祉センター内
TEL 059-232-6803 FAX 059-231-7182
E-mail: suishin.c@mie-kensinren.or.jp

第24回厚生労働大臣杯全国身体障害者ゴルフ大会 「ザ・チャレンジドゴルフトーナメント」& 初心者ゴルフ教室

開催日: 平成30年11月3日(祝・土)

会場: 津カントリー倶楽部
(三重県津市片田長谷町30番地)

参加資格: 身体に障がいのある方でゴルフをされる方(年齢不問)



【お問い合わせ】

NPO法人日本ザ・チャレンジドゴルフ協会
〒514-0077 三重県津市片田長谷町30番地
TEL 059-253-6605 FAX 059-237-3612
E-mail: challenged@tsu.co.jp

平成30年度三重県障がい者青年交流事業

三重県障がい者ふれあい交流会(7月志摩市)、青年活性化対策事業(10月南伊勢町)は三重県共同募金会の対象事業として実施します。

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金



市町別手帳交付者数

(平成30年4月1日現在) (単位:人)

市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳	市町名	身障手帳 (児・者)	療育手帳	精神保健 福祉手帳
津市	11,077	2,265	2,258	東員町	868	144	131
四日市市	10,401	2,488	2,343	菟野町	1,420	332	241
伊勢市	5,181	925	847	朝日町	231	51	57
松阪市	6,644	1,261	1,146	川越町	385	100	84
桑名市	4,417	992	1,292	多気町	552	132	67
鈴鹿市	7,261	1,601	1,282	明和町	942	158	112
名張市	3,376	737	772	大台町	509	94	42
尾鷲市	1,107	151	104	玉城町	605	132	50
亀山市	2,395	366	265	度会町	366	51	29
鳥羽市	1,131	174	101	大紀町	571	74	53
熊野市	1,213	201	121	南伊勢町	1,076	140	83
いなべ市	1,694	350	236	紀北町	901	167	103
志摩市	2,462	367	322	御浜町	375	86	36
伊賀市	4,802	805	617	紀宝町	540	87	65
木曽岬町	205	44	43	その他	220	0	0
				県合計	72,927	14,475	12,902

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話(フリーダイヤル)
0120-263-323